

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告および展示に関する規程、並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習について

- (1) 大会前日および大会当日の練習については、別紙「練習会場での注意事項」および「練習会場使用日程」を確認すること。
- (2) 競技前のメイン競技場でのフィールド種目の練習は、競技開始 30 分前（棒高跳は 60 分前）から行うことができる。ただし、競技役員の指示に従うこと。

3 競技用靴について (TR5.2)

- (1) スパイクピンの数は 11 本以内とし、長さは 9mm 以内、走高跳・やり投は 12mm 以内とする。靴底の厚さは、フィールド種目：最大 20mm、800m 未満のトラック種目：最大 20mm、800m 以上のトラック種目：最大 25mm とする。
- (2) 選手は WA 承認済み競技用靴リスト記載の競技用靴を着用すること。規定違反の疑義がある場合、審判長の権限のもと、競技終了後も含めいつでもチェックや回収をすることがあり、対象者は指示に従わなければならない。

4 招集について

- (1) 招集は両日の第 1 種目のみ以下に示す時刻のとおり行う。以後の種目についても、次の集合時刻までに集合すること。トラック種目の場所は招集、集合ともに混成競技控室前とする。フィールド種目の場所は招集、集合ともに競技場所とする。

種目	招集および集合開始時刻	招集および集合完了時刻
トラック種目	競技開始時刻の 30 分前	競技開始時刻の 20 分前
フィールド種目	競技開始時刻の 40 分前 (棒高跳は 70 分前)	競技開始時刻の 30 分前 (棒高跳は 60 分前)

- (2) 招集、集合の際、同時にアスリートビブス、スパイク（シューズ）、バックの中身、衣類の商標の確認と点検を受けること。トラック種目のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取る。
- (3) 競技者が、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD プレーヤー・トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を所持していた場合は、招集時に預かり競技終了後 TIC にて返却する（TR6.3.2）。競技場内で着用するウェアや持ち込むバック等に表示されている商標は、「競技会における広告および展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては、違反している箇所にマスキングテープ等を貼り処置する。
- (4) 招集および集合完了時刻に遅れた場合は当該種目を欠場するものとして処理する。この場合は次の種目からの出場はできない。

- (5) 次種目から欠場する場合は、混成競技審判長に申し出ること。その後欠場届を TIC に提出すること (TR39.10)。

5 アスリートビブスについて (TR5.7~10)

- (1) アスリートビブスは3枚 (胸・背・手荷物用) 配布する。
- (2) アスリートビブスはユニフォームの胸・背にそのままの大きさに付けること。ただし、跳躍種目は胸・背いずれかに付けるだけでよい。
- (3) トラック種目では、配布した腰ナンバー標識を左右の腰に確実に付けること。
- (4) 3種目終了時点での得点により順位を判定し4種目目より順位別ビブスを付ける。

6 競技について

- (1) トラック種目のレーン順は最終種目を除きプログラム記載のとおりとする。
- (2) トラック種目において、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は失格となる (TR39.8.3)。
- (3) ハードルの高さと投てき種目の重さについては以下のとおりである。

【日本選手権】

ハードルの高さ	男子	110mH 1.067m
	女子	100mH 0.838m
投てき物の重さ	男子	砲丸投 7.260kg 円盤投 2.000kg やり投 800g
	女子	砲丸投 4.000kg やり投 600g

【U20 日本選手権】

ハードルの高さ	男子	110mH 0.991m
	女子	100mH 0.838m
投てき物の重さ	男子	砲丸投 6.000kg 円盤投 1.750kg やり投 800g
	女子	砲丸投 4.000kg やり投 600g

- (4) 走幅跳・砲丸投は2つのピットで実施する。組み分けと試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (5) 走高跳・棒高跳は2つのピットで実施する。組み分けは競技者の申請により決定し、試技順はプログラム記載の順番を原則とする。競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目の最初の招集時に、希望する最初の高さを申請すること。
- (6) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

【日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	以降
男子走高跳	任意の高さ	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	3cmずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	3cmずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	10cmずつ上げる

【U20 日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	以降
男子走高跳	任意の高さ	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	3cmずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	3cmずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	10cmずつ上げる

- (7) 日本選手権十種競技と U20 日本選手権十種競技のやり投の開始時刻は競技日程を基本とするが、棒高跳が終了した競技者でグループ編成し、時間差をつけて開始する場合がある。開始時刻は別途連絡する。
- (8) 十種競技 1500mは 9 種目の合計得点の高い順にレーン内側から整列する。腰ナンバー標識も得点順に 1 からとする。七種競技 800mの組み分けとレーンについては、6 種目の合計得点の高いグループを最終組とし、得点の高い順に 1 レーンから割り当てる。
- (9) 欠場する者は欠場届 (<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/athleticclub/form/>) に必要事項を記入し大会前日までに大会事務局へ送信すること。(岐阜陸上競技協会 FAX:058-294-6491 E-mail: gifurik-jim@rhythm.ocn.ne.jp) へ送信すること。大会開催中は TIC へ提出のこと。

7 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は棒高跳を除き、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 投てき用具については公表された「投てき用器具一覧」にないものは、持ち込みを認める。持ち込み希望者は、当該種目の競技開始 90 分前までに TIC に申し出て検査を受けること。検査に合格した用具は一括借り上げ、参加競技者で共有できるものとし、競技終了後に TIC で返却する。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。
- (3) フィールド種目で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを 2 個まで、サークルからの投てき種目では 1 個置くことができる。個人の所有物は使用できない。

8 結果発表と抗議について

- (1) 結果の発表はアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、アナウンス後 30 分以内 (TR8.2) に、競技者自身または代理人が、TIC を通じて審判長に対して口頭で行う。さらに、裁定に納得できない場合は預託金 (1 万円) を添え TIC に文書で申し出ること (TR8.7)。

9 表彰について

- (1) 1 位~8 位の競技者の表彰は上下ウェア (暑いときは T シャツでも可能) を着用の上、正面スタンド前で行う。競技終了後に競技役員が誘導する。なお、アスリートビブスはウェアに付け替えること。表彰時のウェアにも「競技会における広告および展示物に関する規程」が適用されるので、留意すること。
- (2) 1 位の競技者にはカップ、賞状とメダル、2 位、3 位の競技者には賞状とメダル、4 位~8 位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 各種目の 1 位の競技者には、各種目終了直後にメインスタンド前に設置されるインタビューボード前で記念品の贈呈を行う。

10 控室について

- (1) 混成競技控室はメイン競技場 1 階に用意している。なお、女子控室には、指導者・関係者でも男性の立ち入りを禁止する。
- (2) 貴重品を含め個人の荷物は各自で管理すること。万一の事故があっても主催者は責任を負わない。また、ゴミの後始末は各自で行うこと。

11 ドーピングコントロールについて

検査の対象となった際は競技役員の指示に従うこと。詳細は大会要項による。

12 その他

- (1) 大会期間中、監督・コーチは、朝の練習時間終了以降はメイン競技場内に立ち入ることはできない。
また、室内練習場(雨天走路)からの応援やコーチングを禁止する。
- (2) 招集（集合）場所から競技場への入場および競技終了後の退場は競技役員の指示に従うこと。
- (3) 競技場内での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。医務室はメイン競技場1階に設置する。
- (4) 届けられた遺失物については TIC で保管する。保管期間は6月23日競技終了までとする。
- (5) 記録はその都度発表するが掲示はしない。大会ホームページに随時アップする。
- (6) 「記録証明書」を希望する競技者は TIC に 500 円を添えて申し込むこと。
- (7) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」に従うこと。
- (8) プログラムに誤記がある場合には、第1日9時までに TIC へ申し出ること。
- (9) 棒高跳用ポールの大会会場への搬入および大会会場からの搬出は、各自で運送会社に確認し、手配すること。大会会場への配送日は6月20日（木）午後に指定すること。また、大会会場からの搬出日は6月24日（月）午前に指定すること。

《送付先》〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光 大野 2675-2

岐阜メモリアルセンター 長良川競技場気付

(一財) 岐阜陸上競技協会（競技者名を明記）宛